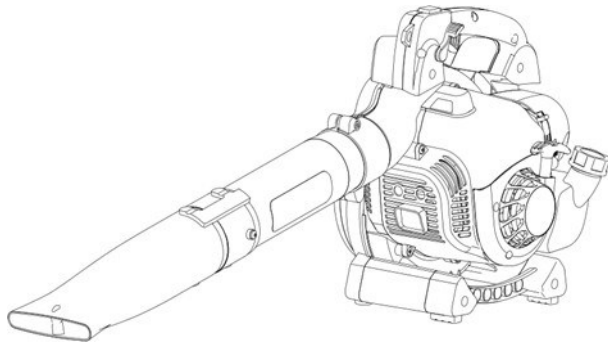


エーパ

ハンディブロワー

BHB270AV

取扱説明書



警告



- この取扱説明書には製品をご使用いただく上で、事故を防ぐ重要な注意事項と製品の取扱い方が示されています。この取扱説明書を良く理解した上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 電気関係部品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

※この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

* This product is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any country.




山田機械工業株式会社

はじめに

お客様へ

このたびはビーバー製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。この取扱説明書は製品の正しい取扱方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。初めてお使い頂く方はもちろん、すでにご使用の経験をお持ちの方にも再認識の上でお役に立つものと考えております。この取扱説明書を繰り返しお読み頂き、良くご理解頂いた上で、安全で効率の良い作業を始めてください。ビーバー製品は常におこたらない品質改良のため、取扱説明書の中にお買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。あらかじめご了承ください。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容に関するご質問は、お買い上げ店または弊社営業所までお問い合わせください。




安全 第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。




■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

-  **危険** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
-  **警告** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
-  **注意** : 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
- 重要** : 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
- 補足** : その他、使用上役立つ補足説明を示します。

・ 操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。これらの表示に従って誤操作のないようご注意ください。

マーク表示部位	図 柄	意 味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表します。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作すると、チョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作すると、チョークが開くことを示します。

注：機種によって図柄は異なることがあります。

製品をお使いになる前に必ずお読みください

■ 本製品はハンディブローワー専用機です。不測の事故を防ぐため、本来の使用目的以外には使用しないでください。

■ 1回の連続作業時間は30分以内とし、必ず5分以上の休憩をとり、1日の作業時間は最大でも2時間以内として下さい。決して無理な作業はしないでください。

■ 使用前の点検・整備について

製造時の振動や騒音レベルを劣化させないため作業を開始する前に必ず機体各部の点検・整備を行い異常がないことを確かめてください。

特に次のような異常がある場合は速やかに使用を中止し販売店または修理専門店で整備してください。

■ 振動が大きくなったなど異常な振動を感じたとき

■ ハンドルの変形、破損

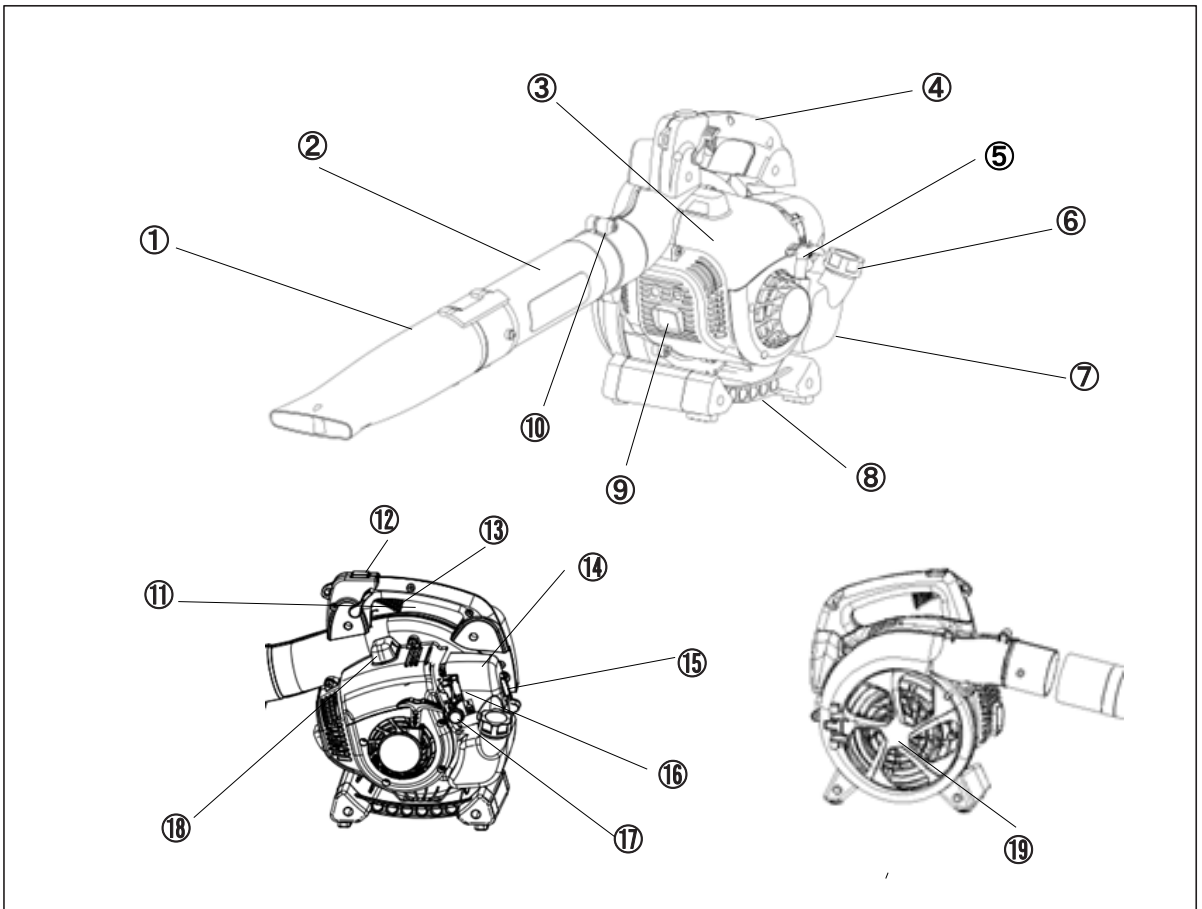
■ ハンドル部のゆるみ、損傷

■ 風管パイプのゆるみ、破損

目次

製品の各部の名称 / 標準付属品	1
正しく、安全にお使いいただくために.....	2-5
正しく、安全にお使いいただくために(* 警告ラベル).....	6
サービス(アフター)と保証について.....	7
組立.....	8
燃料の取り扱い.....	9-10
始動と停止.....	11-13
操作方法	14
点検整備	15-18
保管	19
故障診断	20
主要諸元	21

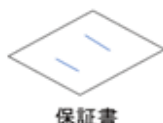
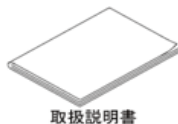
製品各部の名称



ハンディブローワー 各部名称


- | | | |
|-----------|----------------------------|-----------------------|
| ①フラットノズル | ⑧ハンドル(ボトム) | ⑭エアークリーナカバー |
| ②中間パイプ | ⑨マフラー | ⑮エアークリーナノブ |
| ③エンジンカバー | ⑩パイプクランプスクリュー | ⑯チョークレバー |
| ④操作ハンドル | ⑪スロットル固定レバー | ⑰プライマリーポンプ |
| ⑤スタータハンドル | ⑫ストップスイッチ | ⑱プラグキャップ
(スパークプラグ) |
| ⑥燃料キャップ | ⑬スロットルレバー
(スロットルコントロール) | ⑲ファンカバー |
| ⑦燃料タンク | | |

標準付属品 (※形状や名称, 品目について変更させて頂く事が有ります)





正しく、安全にお使いいただくために

本製品をご使用頂く前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明の都度とり上げております。

■ 製品をお使いになる前に

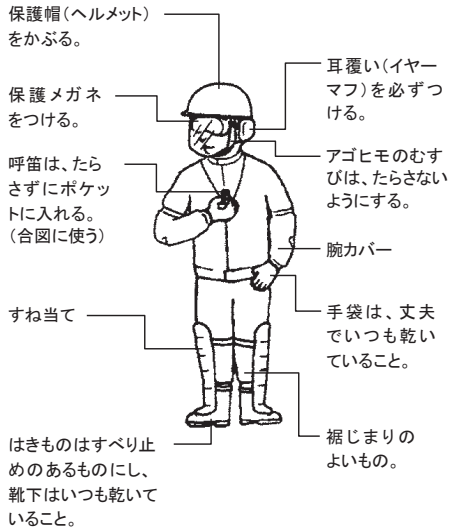
- ご使用前にこの取扱説明書をお読みに
なり、製品の機能と取扱い上の注意事項を
よくご理解ください。
- 初めてお使いになる場合は、実作業に入る
前に熟練者から製品の取扱い指導を受け
てください。
- 疲労が重なると注意力が低下し、事故の原
因となります。作業計画にはゆとりを持た
せ、作業時間は『振動障害の防止』の項に
従ってください。
- 本製品は高速の風を発生させるため、操
作を誤ると非常に危険です。疲労などで体
調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後な
ど、正常な判断と的確な操作ができない恐
れがある場合は、本製品を使用しないでく
ださい。また、本書の内容が理解できない
人、妊娠している人や子供には絶対に使
わせないでください。
- この取扱説明書は必ず保管して、分らない
ことがあった場合など必要に応じてご参照
ください。
- 小さいお子様の手の届くところに保管しな
いください。
- 本製品を譲渡または貸与する際は、この取
扱説明書を必ず添付してください。
- エンジンの排気ガスには
人体に有害な一酸化炭素
が含まれています。
屋内やビニールハウス、
トンネル内など、通気の悪い場所では本製
品を使用しないでください。
- この製品は運転中に電磁界を発生し、電磁
界がペースメーカやその他の医療器具に干
渉する場合があります。
重傷・致命傷のリスクを軽減するために、ペー
スメーカやその他の医療器具を装着された方
は、この製品を使用する前に医師またはペー
スメーカ・医療器具メーカーに相談してくだ
さい。
- 次のような場合はお使いにならないでく
ださい。
 - ① 足元が滑りやすいなど、安定した作業
姿勢の保持が困難な場合
 - ② 霧や夜間など、作業現場周辺の安全
確認が困難な場合
 - ③ 天候悪化時(降雨、強風、雷など)





正しく、安全にお使いいただくために

■ 使用時の服装・装備



- 本製品をお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

- ① 保護帽(ヘルメット)
- ② 保護メガネおよび顔面防護ネット(フェースシールド)
- ③ 丈夫な手袋または防振手袋
- ④ 滑りにくい丈夫な保護長靴または滑りにくい安全な靴とすね当て
- ⑤ 耳覆い(イヤーマフ)

厚手の長ズボン、ブーツ、手袋、および長袖シャツを常に着用してください。回転部品に物が巻き込まれることによる負傷の危険性を低減するために、ゆったりした衣服、スカーフ、宝飾品などは身に着けないでください。髪の毛は肩より上になるように留めてください。

- ・ 粉塵が多く発生すると予想される場所では、防塵マスクを使用ください



- 事故やけがに備え、次の用具を携行してください。

- ① 救急箱
- ② 止血道具(タオル・手ぬぐい等)

■ 燃料に関する注意事項

- 本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。



焼却炉、バーナー、たき火、かまど、スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

- くわエタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。



- 燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

- 使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

- 給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

- 給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。



正しく、安全にお使いいただくために

■ エンジン始動時の注意事項



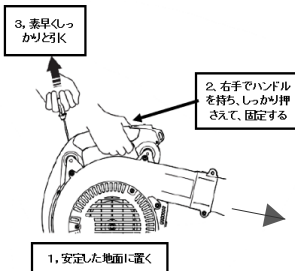
警告

本機は、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によって能動あるいは受動的な医療用インプラントに影響を及ぼすことが有ります。深刻、致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している人が本機を操作する場合は、事前に医師及びペースメーカーの製造元に相談する事をお奨めします。

- エンジンを始動する時は周囲（15m以内）の安全をよく確かめてください。特に小さな子供が近くにいないことを確認してください。



- 安定した地面に本機を置き、右手で本機本体を固定します（注意：足で固定しないこと。）、スタータハンドルを左手で掴み、素早くしっかりと引きます。



始動前には必ず風の吹き出し口の方に人や車などの障害物が無いことを確認してください

本機を室内で始動させたり、運転しないでください。排気ガスを吸入すると危険です。



■ 運搬時の注意事項

- 車で運搬するときは、ロープなどで荷台に確実に固定してください。危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。
- 燃料タンクに燃料を入れたまま長時間悪路上を運搬しないでください。キャップがゆるみ燃料が漏れ出す恐れがあります。
- 燃料の輸送や保管を行う場合は、必ず認可された専用容器を使用してください。
- 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を完全に抜いて、燃料タンク内の燃料を空にして保管してください。
- 本機の保管は、塵やほこり、湿気がなく、涼しくて換気の良い場所に保管してください。
- 本機や燃料は子供の手の届かないところに保管してください



警告

燃料の取扱いには十分注意してください。火災や爆発、有毒ガスの吸引などの危険にご注意ください。



正しく、安全にお使いいただくために

■ 作業時の注意事項

- 作業時は機体の握り部(ハンドルグリップ)をしっかり握って操作してください。作業を中断する場合は、固定レバーを完全に戻し、エンジンを停止してから手を離してください。
- 作業はゆとりのある安定した姿勢で行ってください。
- エンジンの回転は作業に必要な範囲に保ち、不必要に上げないでください。
- 機体の点検、燃料補給が必要な場合は必ずエンジンを停止してから行ってください。
- 風管に異物が当たったり、ゆるみがあった場合は、すぐにエンジンを停止し、風管に異常がないか点検してください。異常があった場合は作業を中止し、正常な風管に交換してください。
- 作業中は安全のため他の作業員、人や動物が15メートル以内に近づかないように注意し、距離を取ってください。また後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。

- 電気ショックを受ける可能性がありますので、エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。



- 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、エンジンカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。
- 作業を中断して移動するときは、エンジンを停止して持ち運んでください。

- 運転中は、冷却用空気取入口や風の取り入れ口に手や物を差し込んだりしないでください、回転部に触れる恐れが有り危険です。



■ 整備上の注意事項

- この取扱説明書では、製品の機能維持に必要な整備について説明しています。本書に記載されていない整備が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りの当社製品取扱店にご相談ください。
- 製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作ができなくなる危険があります。
- 点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。
- エンジン停止直後は、素手でマフラ、エンジンカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。高温のためやけどの危険があります。
- 交換用部品や補充用油脂類は、必ず当社純正品または当社指定銘柄品を使用してください。



- マフラーに関して、損傷や取付部の緩みが無いか確認してください。損傷や緩みがある本機は火災や火傷などの危険性が有りますので決して使用しないでください。



警告

不注意な取り扱いや誤った取り扱いを
すると、フローは危険な道具となり
重傷や致命傷の原因となります。
この取扱説明書をよくお読みになり、
内容を詳しく理解する事が非常に重要
です。



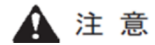
正しく、安全にお使いいただくために

■ 警告ラベルと取扱い



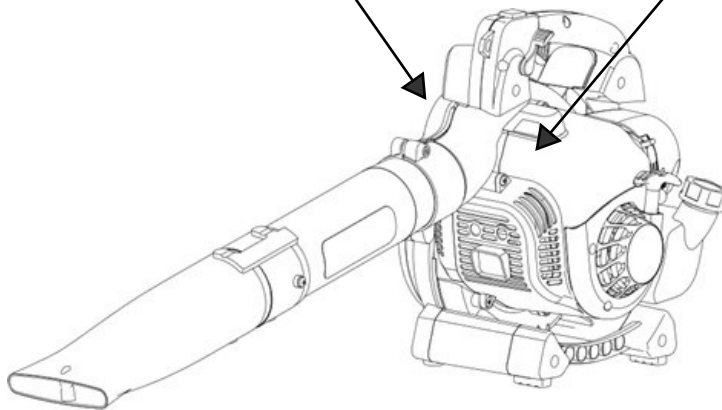
取扱説明書
を読むこと

ヘルメット・保護メガネ・
耳栓又は耳覆い
(イヤーマフ)着用のこと



注意

エンジン始動時は周辺の状況を確認し、風の吹き出し方向に人や障害物を近づけないでください。



警告ラベルのメンテナンス

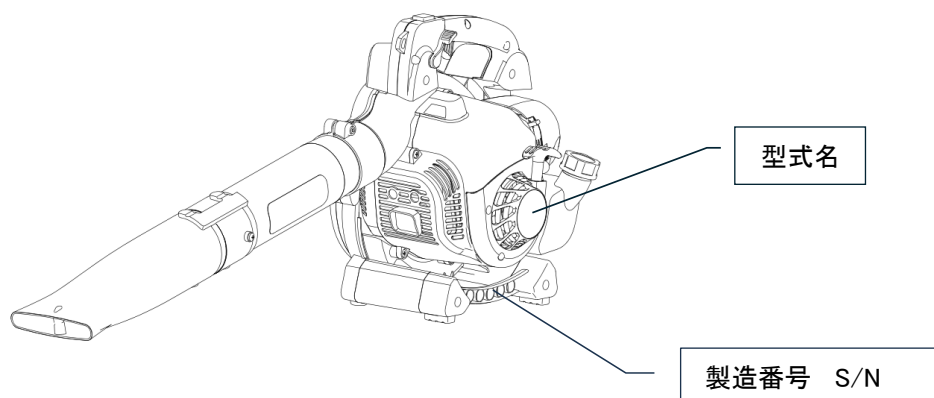
- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

サービス(アフター)と保証について

本製品に関するお問い合わせや補給部品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号(下図参照)をご連絡ください。

製品・技術・その他に関してお気づきの点やご意見等ありましたらお気軽にこの取扱説明書の裏表紙に記載の連絡先にお寄せください。



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえご購入頂いた販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後8年です。
ただし、供給年限内であっても社会情勢等による材料入手困難などの不測の事態が生じた場合は、納期等についてのご相談や、部品供給が出来ない場合があります。
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



警告

機械の改造は危険ですので、改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

組立

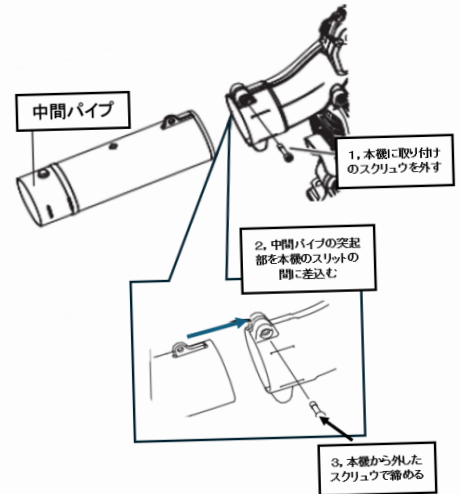


注意

- 組立時は各部品を正しく組み付けてください。組み付けを誤ると事故を招く恐れがあります。
- ご自身で組立が困難な場合はお買い上げ店にご相談ください。

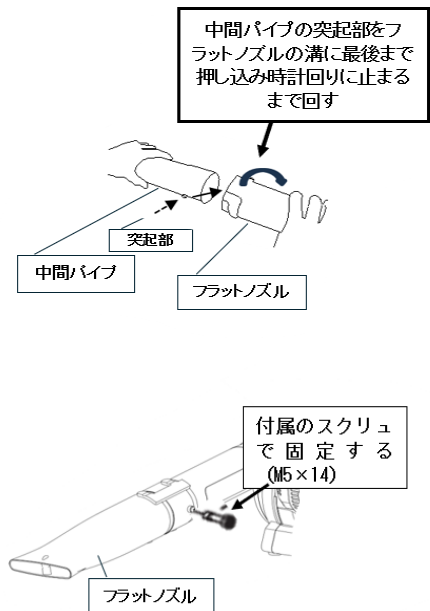
■ 中間パイプの組立

- ① 本機に取り付けてあるスクリユを取り外してください。
- ② 中間パイプの突起部を本機のスリット部に差し込んでください。
- ③ 本機から取り外したスクリユで締め付けてください。




■ フラットノズルと中間パイプの組立


- ① 中間パイプの突起部をフラットノズルの溝の部分に合う用に最後まで差し込んで、フラットノズルを時計回りに止まるまで回してください。
- ② フラットノズルと中間パイプを付属のスクリユで固定してください。



燃料の取り扱い

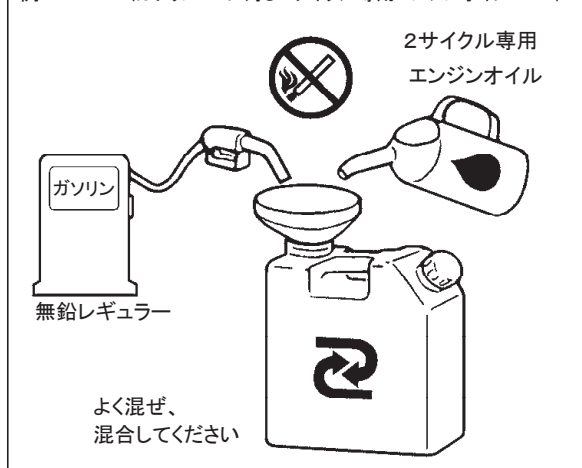
燃 料

 危険	<ul style="list-style-type: none">● 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。● 混合作業は屋外で行ってください。● 刈払機や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。
---	---

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 燃料タンクキャップを開ける前に製品および補給用タンクを地面に置くなどして、帯電している静電気を除去してください。● 燃料補給時に金属製の漏斗を使用しないでください。静電気が燃料に放電して火災の原因となります。● 燃料タンクキャップを開けるときはゆっくりと開けて、タンク内の圧力を逃がしてください。● 燃料パイプ、燃料グロメット、燃料タンク周辺から漏れやにじみがある場合は、直ちに使用をやめ、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。● 補給用燃料は、火気のない日陰に置いてください。● 余った燃料は、金属製のガソリン携行缶で保管してください。● 燃料を運搬する際は、金属製のガソリン携行缶を使用してください。
---	---

重要	<ul style="list-style-type: none">● オイルが混合されていないガソリン(生ガソリン)を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。刈払機や燃料容器に水がかからないようにしてください。● 4サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。● エンジン不調の原因となりますので指定外のオイルや混合比で使用しないでください。
-----------	---

例：50：1（ガソリン1Lに対し2サイクル専用エンジンオイル20mL）



燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷2サイクル専用エンジンオイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものをご使用ください。

〔混合比〕

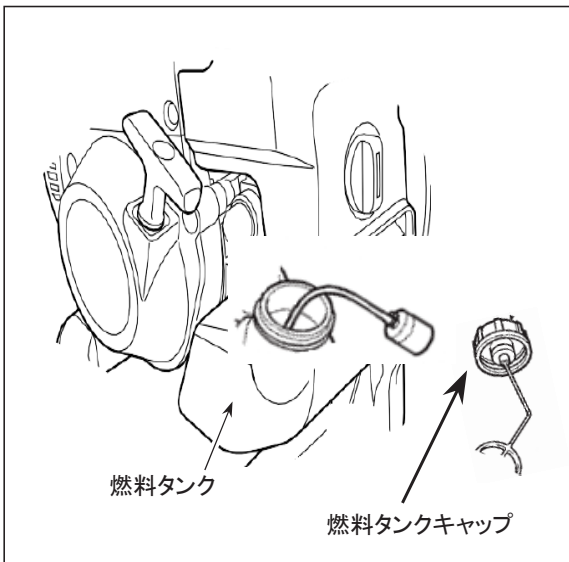
□2サイクル専用オイル（JASO性能分類 FC級又はFD級）使用時 50：1（ガソリン1Lに対しオイル20mL）の比率でよく混合してください。

燃料の取り扱い

給油

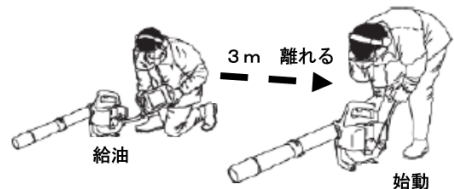
危険	<ul style="list-style-type: none">● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。● 燃料タンクキャップは確実に締め付けてください。● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。
-----------	---

重要	燃料タンクへの給油量は、燃料タンク80%～85%を目安にしてください。燃料を入れ過ぎると、運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。
-----------	--







1. 給油する機械を屋外の平坦な場所に置き安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し 80～85%を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったら燃料タンクのキャップを確実に締め付けて燃料漏れのないことを確認してください。

始動する時は、燃料の保管場所、又は給油した場所から少なくとも3m以上離れたところで始動してください。



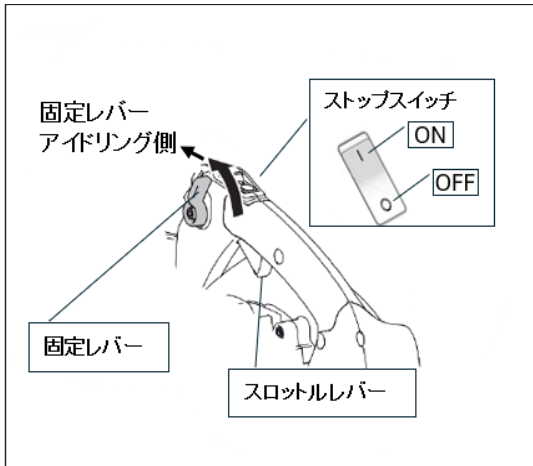
始動と停止

エンジンの始動

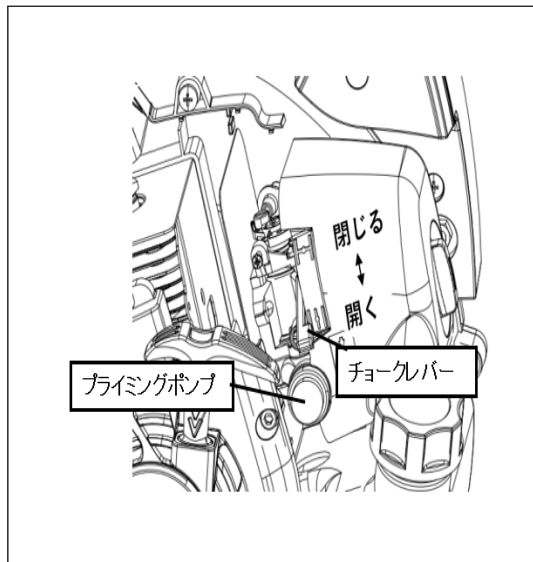
 危険	<ul style="list-style-type: none">● 燃料を補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。 給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。 人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。 
 警告	<ul style="list-style-type: none">● エンジンの始動、停止時、移動時は常に固定レバーをアイドル位置にしてください。固定レバーがアイドル位置以外になっているとエンジンが回転し始めた時に高速回転で回転することが有り、非常に危険です。
 注意	<ul style="list-style-type: none">● 給油時にこぼれた燃料は、エンジンを始動する前に布で確実にふき取ってからエンジンを始動してください。● 始動前に機体各部を点検し、ハンドル取付部のゆるみや固定レバーの作動不良、風管パイプ部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。● 始動時は機体を地面に置いて確実に保持してください。風管が地面や周囲の障害物に触れる危険がありますので、機体を片手で持上げたまま始動しないでください。● 固定レバーを引いた状態でエンジンを始動しないでください。 始動と同時に高速回転で回ることがありますので非常に危険です。始動時は機体を安定した地面におき、風の吹き出し口周囲から障害物を遠ざけてください。● 運転時は常にグリップ部を握り、風の吹き出し方向から目を離さないでください。● 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、エンジンカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。● 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコード及びその付近に手を触れないでください。
重要	<p>チョークを閉じたまま始動操作を繰り返すと、スパークプラグの電極がぬれてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、チョークを開き、スタータハンドルを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。</p>

始動と停止

エンジンの始動



1. ストップスイッチをONにしてください。
2. 固定レバーをアイドル方向に上げてください。



3. プライミングポンプを押して、キャブターに燃料を満たします。燃料が透明なパイプを通してタンクに戻り始めるまでプライミングポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

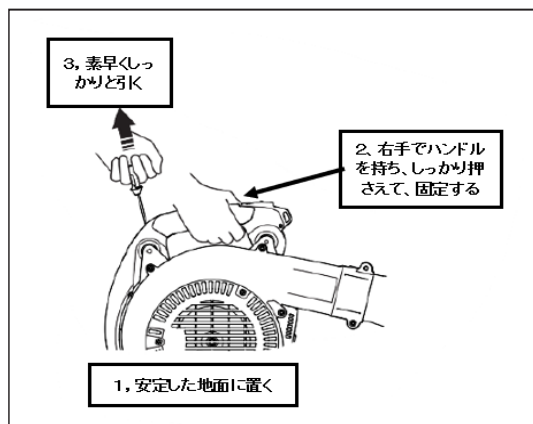
オーバーフローする燃料は、燃料タンクに戻る構造になっているため、吸込み過ぎの弊害および漏れはありません。

補足 エンジンが暖まっているとき(停止後、約15分以内)は、プライミングポンプの操作は不要です。但し、燃料がなくなり、燃料の補充をした後の再始動時には、プライミングポンプの操作をしてください。

4. チョークレバーを上方向(閉じる)に上げてチョークを閉じるの状態にしてください。

補足 エンジン停止直後に再始動する場合は、チョークが運転(開)位置のままリコイルスタータを引いてください。

重要 始動前には必ず風の吹き出し口の方に人や車などの障害物が無いことを確認してください

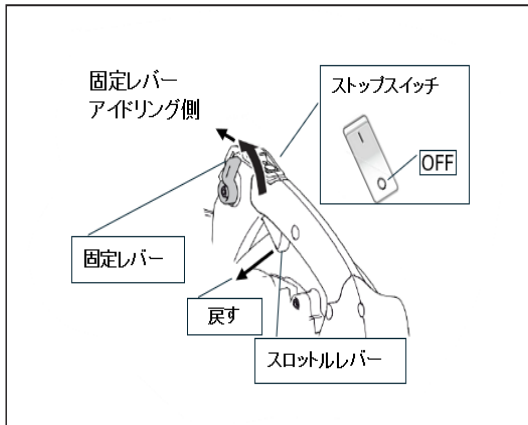


5. 安定した地面に本機を置き、右手で本機本体を固定します(注意:足で固定しないこと。)、スタータハンドルを左手で掴み、素早くしっかりと引きます。

重要 スタータ故障の原因となりますので、ロープを最後まで引き出したり、ハンドルから手を離して戻したりしないでください。

6. エンジンが始動したらチョークを徐々に開いてください。本格運転前に2~3分間低速で暖機運転してください。


エンジンの停止



1. スロットルレバーを戻してください。
2. 固定レバーをアイドリング方向に上げてください。
3. ストップスイッチのOFF側を押してください。

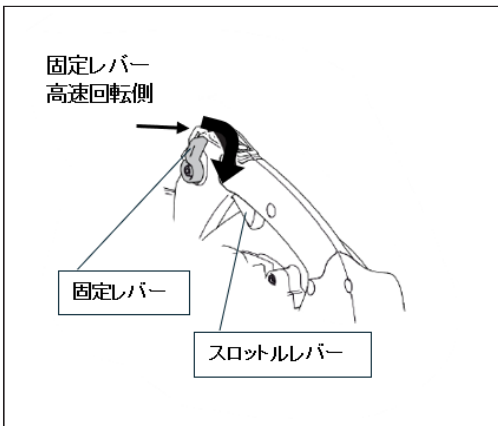
操作方法

操作方法

 警告	不注意な取り扱いや誤った取り扱いをすると、ブロワーは危険な道具となり。重傷や致命傷の原因となります。この取扱説明書の「正しく、安全にお使いいただくために」をよくお読みになり、内容を詳しく理解する事が非常に重要です。
--	---

重要	ブロワーの使用にあたっては、騒音やほこりによる周囲の迷惑を考え、深夜や早朝など不適切な時間帯の使用は避けてください。
----	--

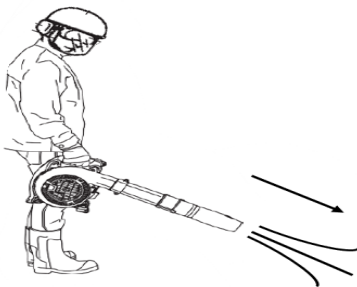
□ 固定レバーの使い方




■ 定速保持作業（固定レバーの役割）

運転中はハンドルを握り操作し、スロットルレバーでエンジンの回転を変えることで風速を制御します。使用中に常にスロットルレバーを指で握っておかなくてよくするために、固定レバーで一定の風速を維持できるように設定できます。固定レバーを完全に押し込むと最高回転が維持できます。

補足 ブロワーは出来るだけ低速回転数で使用します。ほとんどの作業は中速回転で処理でき、最高回転で使用する頻度は多くありません。低速回転での使用の場合、騒音や粉塵、石などの飛散物も少なく、集めたごみの扱いも簡単になります。




吹き出す風が落ち葉や塵などの対象物に出来るだけ近くなると作業効率が良くなります。風出口の先端部を地面に出来るだけ近付けて低速回転でも効率よく、使用されることをお勧めいたします。

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 作業中は安全のため他の作業員、人や動物が15メートル以内に近づかないように注意し、距離を取ってください。また後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。● 運転中本機のエンジン部は高温になります。また、素手で触れられる温度でも長時間接触しているとやけどをする恐れがあります。作業中に衣服の上からでも肘など身体がエンジンに当たらないよう正しい姿勢で作業してください。
--	--

点検整備

作業前、定期点検整備

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ● 本機の改造やエンジンの分解はしないでください。事故や重大な人身事故を招く恐れがあります。製品の改造や整備不良が原因での事故や故障をした場合は、弊社保証の対象外となります。 ● 部品交換時は純正部品または指定品を使用してください。 ● ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。
---	---

■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

点 検 項 目		処 置
1	風管(パイプ)	・締め付け ・交換 ・交換
2	ファンカバー	・締め付け ・交換
3	ハンドル	・締め付け ・交換 ・ふき取り
4	スロットルレバー	・動きが悪い
5	スロットルワイヤ	・遊び過大/過小 ・動きが悪い
6	燃料タンク	・締め付け ・交換 ・交換
7	マフラ	・締め付け ・マイナスドライバなどで詰まりを取り除く ・交換
8	リコイルスタータ	・締め付け
9	シリンダー、マフラーカバー	・締め付け ・交換

*その他の部位にも異常が有れば修理又は交換してください。

■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

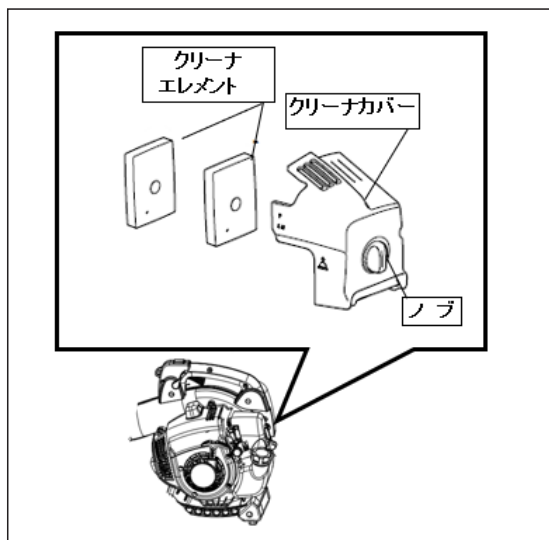
点 検 整 備 項 目	使用時間		備 考
	25時間	100時間	
エ ン ジ ン 部	エアクリーナエレメントの清掃	○	
	燃料フィルタの点検清掃	○	
	スパークプラグの点検清掃、調整	○	スキマ 0.6~0.7mm
	冷却空気取入口、シリンダフィン の点検清掃	○	
	シリンダ取付ボルトの増締め		○
	エンジン各部の増締め		○
本機	マフラーカーボン落とし	○	
	ファン の点検清掃		○

100時間使用時点検はお買い上げ店または修理専門店で点検修理を依頼してください。

点検整備

■ エアクリーナ

重要	エアクリーナエレメントが詰まるとエンジンの出力が低下し、燃費が悪化します。また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。
----	---



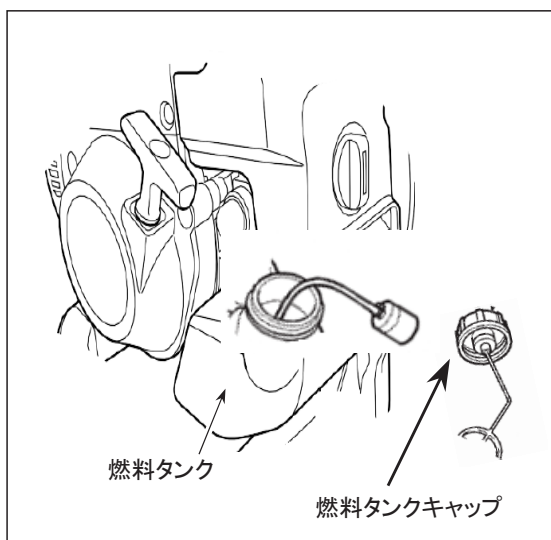
25時間使用毎を目安にエアクリーナカバーのノブをゆるめてカバーを取り外し、内部のゴミを取り除いてください。

エレメントの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でいねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。

エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

■ 燃料フィルタ

重要	燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかつたり、回転変動を起こしたりします。
----	---



25時間使用毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除いてください。

汚れや詰まりがひどい場合は新品と交換してください。

点検整備

■ スパークプラグ

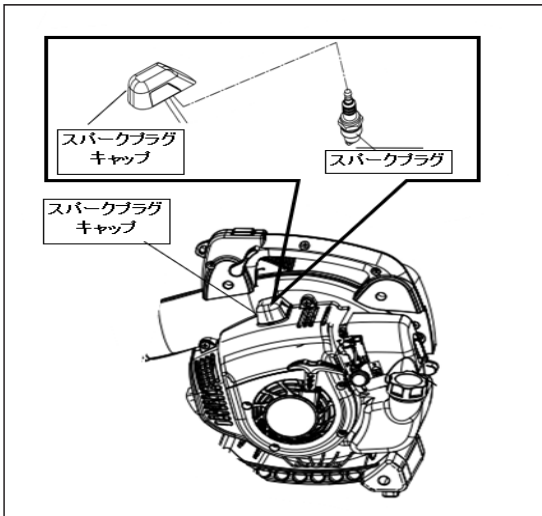


注意

エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。
高温のためやけどを負う恐れがあります。

重要

- スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締め付け時は必ず付属のプラグレンチ(ソケットレンチ)を使用してください。
- 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。
- プラグ交換時は指定品を使用してください。
指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。



- プラグ取り付け時は、まず指でねじ込み、最後に付属のプラグレンチ(ソケットレンチ)で締め付けます。

【締め付トルク】

15~20N・m [約150~200kgf・cm]

25時間使用毎を目安に、
スパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

- プラグ交換時は指定品を使用してください。

重要

初めからプラグレンチで強く締め込むとねじ山が破損する恐れがあります。

指定スパークプラグ

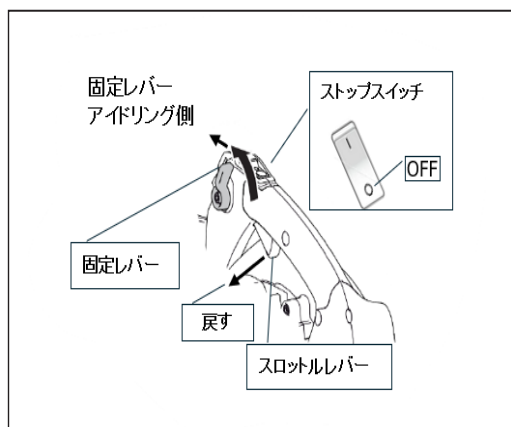
NGK BPMR7A

- 電極間隙は0.6~0.7mmが適当です。

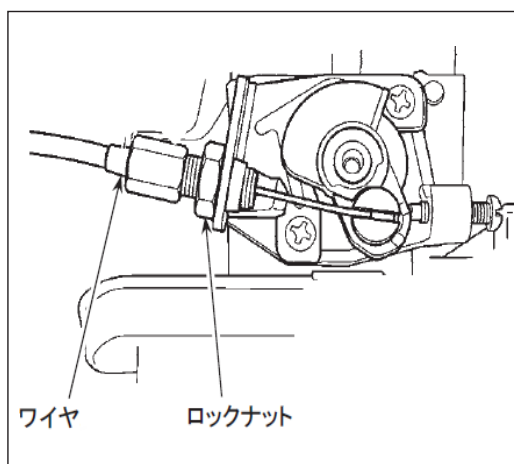
0.6~0.7mm

点検整備

■ スロットルワイヤ ・ ファンカバー(空気取り入れ口)

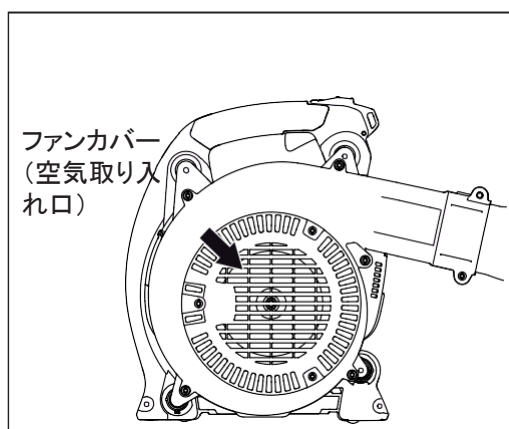


固定レバーをアイドル側の位置にし、スロットルレバーを最後まで握った状態で点検してください。ストップスイッチは必ずOFFの状態になっていることを確認してください。



ロックナットをゆるめ、ワイヤの位置を調整してください。遊びは、ワイヤを右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。


最後に調整後はロックナットを締め付けて固定してください。



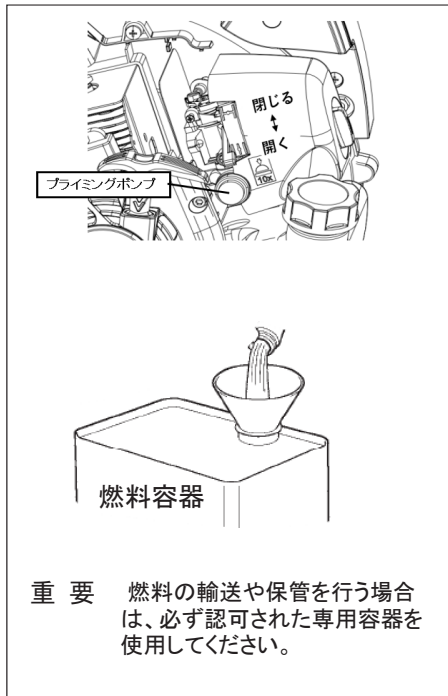
ファンカバーの空気取り入れ口が葉やごみなどで塞がっていないか確認します。空気取り入れ口が詰まっていると、ブロワーの送風性能が下がり、エンジンの作動温度が上がります。これによりエンジン不良の原因となる場合があります。エンジンを停止して、異物を除去してください。

保 管

■ 長期保管時の手入れ

 危険	<ul style="list-style-type: none">● 引火による火災の恐れがあります。燃料抜き取り時は、火気を遠ざけて下さい。● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。
--	--

重 要	<ul style="list-style-type: none">● 長期間(2カ月以上)使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障(始動不良や出力不足)の原因となります。● 保管時は、燃料タンクの燃料タンクキャップをゆるめにしてください。強く締めすぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。
-----	---



重 要 燃料の輸送や保管を行う場合は、必ず認可された専用容器を使用してください。

1. 機体の汚れを落としながら 各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し 異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を容器に移した後、燃料フィルタを引き出してください。
3. プライミングポンプを燃料タンクに燃料が戻らなくなるまで押し、燃料タンクに戻った燃料を容器に移してください。
4. 燃料フィルタをタンクに戻し、燃料タンクキャップを取り付けてください。
5. エンジンを始動し自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し2サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。リコイルスタータを2～3回引いてからスパークプラグを元通り取り付け 圧縮位置で止めてください。

故障診断

故障のときは

現象	主な原因	処置
エンジンが始動しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換
	・ 燃料吸い込み過ぎ	・ チョークを開き、スロットルを全開にしてリコイルスタータを繰り返し引く
	・ マフラ排気出口詰まり	・ 詰まり除去、または交換 ☆
	・ スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・ 電極清掃またはスパークプラグ交換 ☆ (NGK BPMR7A)
停止スイッチを操作してもエンジンが止まらない	・ スイッチコード接続不良	・ 確実に接続する
エンジンが加速しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換
	・ マフラ排気口詰まり	・ マフラ または交換 ☆
スロットルを戻すとエンストする	・ アイドリング回転数が低すぎる	・ 再調整
スロットルを戻しても回転が充分に下がらない	・ アイドリング回転数が高すぎる	・ 再調整
	・ スロットルワイヤの遊びがない	・ ワイヤ取り回し点検、遊び再調整
エンジンの回転が変動する	・ 燃料フィルタ目詰まり	・ 燃料フィルタ清掃または交換 ☆
異常振動	・ ファン緩み、変形、損傷	・ ファン締付、交換 ☆
燃費悪化	・ エアクリーナ目詰まり	・ エアクリーナ清掃、エレメント交換 ☆

- ・ 上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。
- ・ ☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。



危険

- 機械の改造や分解等はいしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。
- 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。燃料に引火する恐れがあります。
- 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。

主要諸元

性能・仕様

型式名	BHB270AV
防振構造	ダンパースプリング
外観寸法 (L×W×H)	43×27×39
質量(乾燥重量) (kg)	4.6
エンジン排気量 (cm ³)	25.4
燃 料	潤滑油混合ガソリン 50:1 (ガソリン:2サイクルE/G専用オイル) <small>2サイクルE/G専用オイル = JASO性能分類 FD級以上使用</small>
燃料タンク容量 (L)	0.55
キャブレター	ダイヤフラム ロータリーバルブ式
スパークプラグ	BPMR7A (NGK)
点火方式	無接点式フライホイールマグネット CDI
始動方式	リコイルスタータ式
停止方式	点火回路一次側短絡式
エアボリューム (m ³ /min)	13 丸形ノズル使用
風速 (m/s)	80 標準ノズル使用

BE-JE



山田機械工業株式會社

本社 〒651-2404

兵庫県神戸市西区岩岡町古郷1534

TEL 078(967)1481 FAX 078(967)3090



<https://www.beaver-group.co.jp>

(2024年 8月現在)